

株式会社ソルクシーズ（東証1部：4284）



SOLXYZとは"solution"と"xyz"を合成したもので、究極の問題解決を提供したいという願いが込められています。私たちはお客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指します。

2019年12月期
第1四半期

機関投資家向け
説明資料

2019年6月
<https://www.solxyz.co.jp/>

会社概要・グループ戦略



会社概要

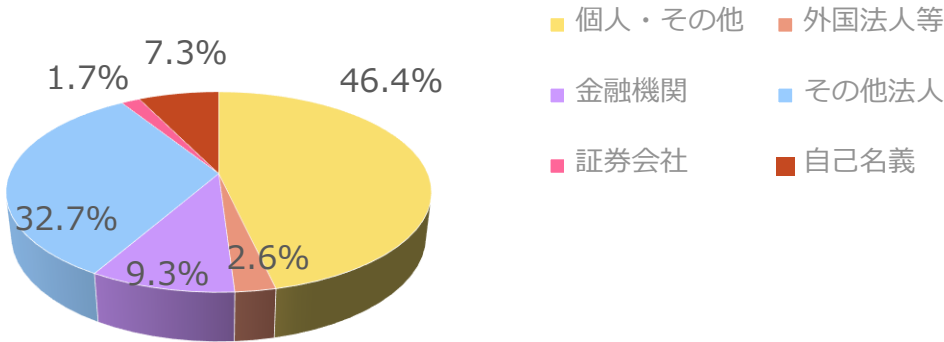
商号:	株式会社ソルクシーズ SOLXYZ Co., Ltd.
設立:	1981年2月4日
事業内容:	ソフトウェア開発・運用・保守、組込みソリューション
本社所在地:	東京都港区芝浦3-1-21
資本金:	14億9,450万円（2018/12末現在）
決算期:	12月31日
従業員数:	連結:720名 2018/12末
役員:	代表取締役社長 長尾 章 他常勤取締役 9名、社外取締役 3名 監査等委員設置
子会社:	10社



代表取締役社長 長尾 章

1955年2月23日生
1983年3月 トータルシステムコンサルタント設立 取締役
1998年1月 合併により当社専務取締役
2006年3月 当社代表取締役社長に就任
他グループ企業10社の取締役兼務

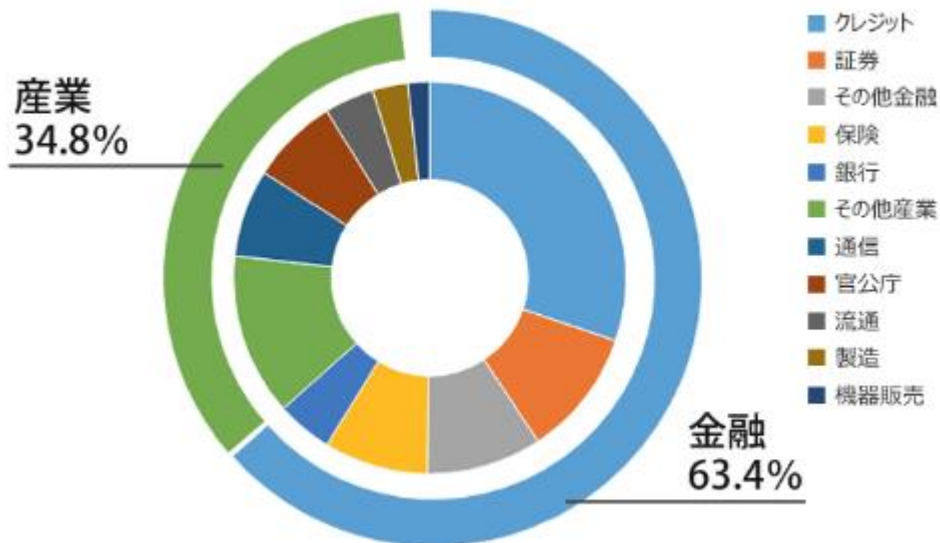
2018/12末
株主構成



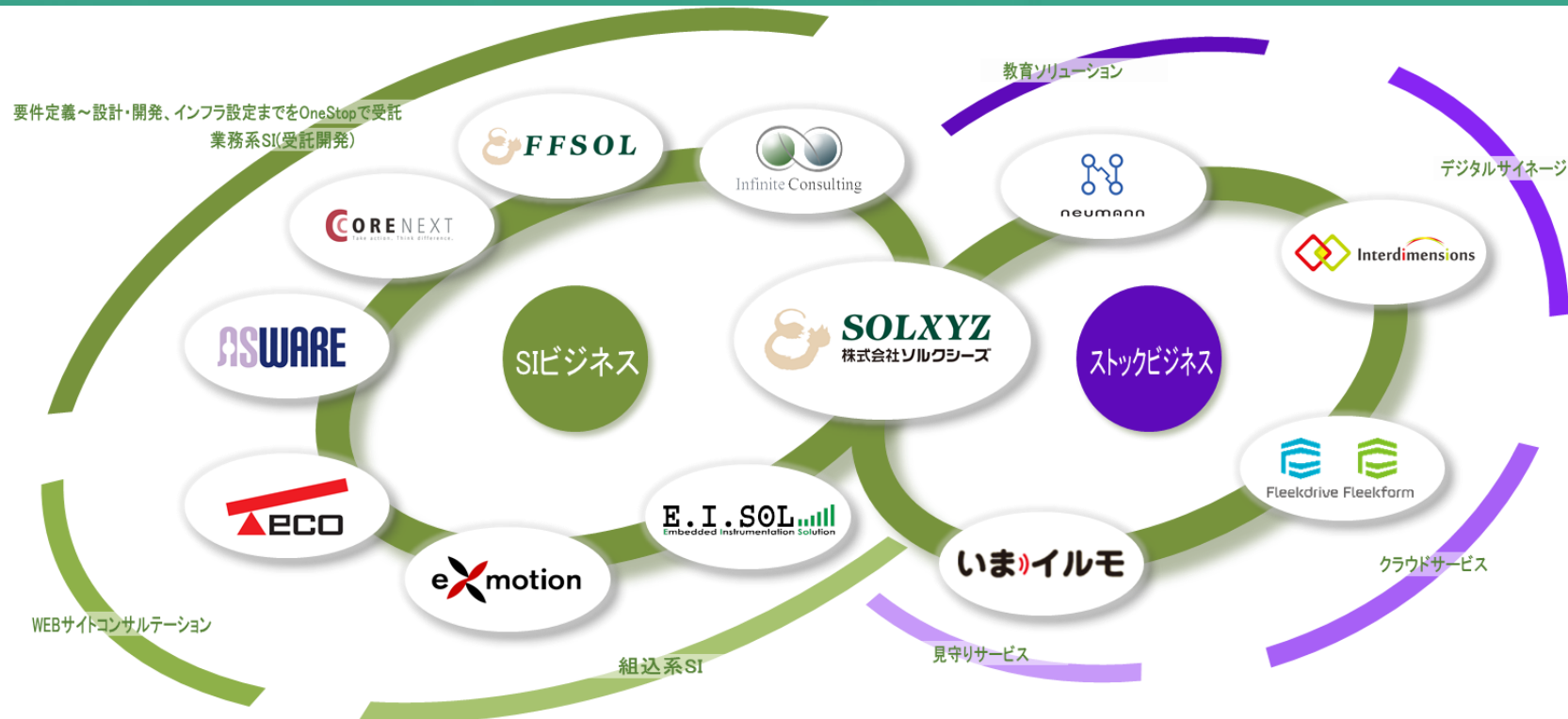
グループ構成

- ソフトウェア開発売上げが全体の90%超、うち約60%を金融系が占める
クレジット系などを中心にソリューションを提供
- IoTや自動運転等、専門技術に長けた子会社10社を統括

業種別の構成比



グループ概要（SIビジネスとストックビジネスの両輪）

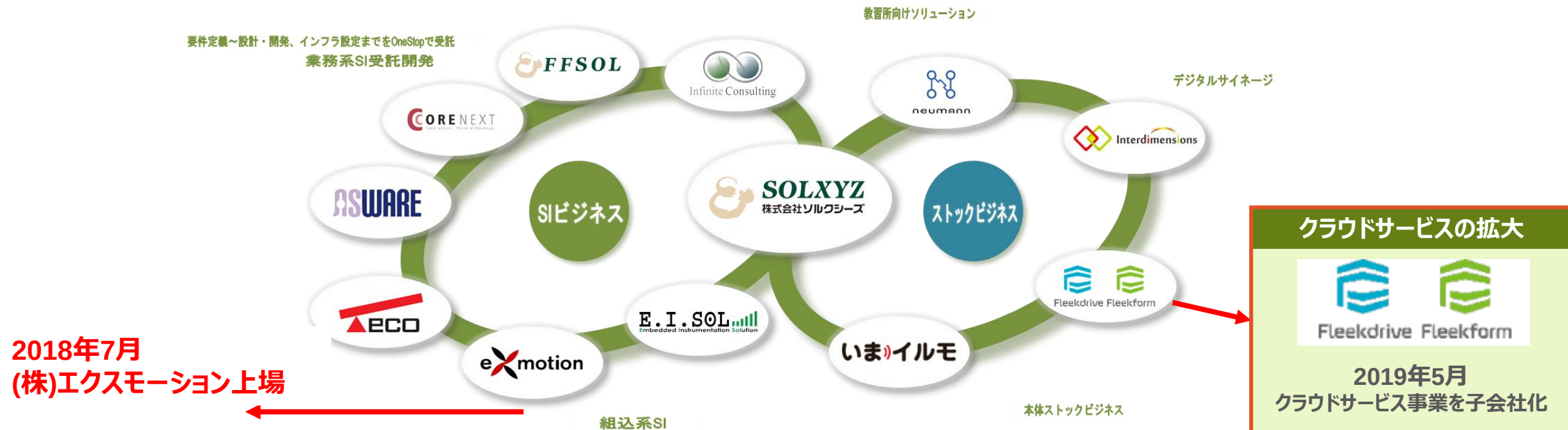


S Iビジネス		
会社／サービス名	事業／サービスの内容	主要顧客
インフィニットコンサルティング	S I 上流工程のコンサルティング	証券業、電気機器業、医療機器業
エフ・エフ・ソル	S I 銀行系に特化	ネットバンク、都銀、地銀、信用金庫
コアネクスト	S I 投資顧問系に特化	投資信託業、投資顧問業
アスウェア	S I ICTインフラの設計・構築・保守	SIベンダー、通信業
テコ	WEB ウェブマーケティング、コンサルティング	製品販売業、各種企業
エクスマーシオン	組込 製造業等の設計支援	自動車製造業、医療機器製造業
イー・アイ・ソル	組込 制御・計測系の組込システム、IoT	装置製造業、計測機器製造業

ストックビジネス		
会社／サービス名	事業／サービスの内容	主要顧客
ノイマン	教育機関向けソリューション開発・販売	自動車教習所、学校、塾
インターディメンションズ	デジタルサイネージ、AV、セキュリティ設置販売	商業施設、文教施設、自治体
いまイルモ	IoTによる見守りサービス	個人、介護施設
NEW! (株)Fleekdrive*	クラウド環境上でのコラボレーションソリューション	各種企業
※5/7よりクラウドサービスを分社化し、(株)Fleekdriveとして営業開始		

当社グループの成長モデル

- 継続的成長に向け、S I ビジネスとストックビジネスの両輪を拡大（両輪政策）
（ストックビジネスについてはM&Aを主軸に展開）
- 利益率向上に向けた、組込み（自動車、I o T 等）領域への拡大
- スタートアップ企業への出資と育成による新技術領域と I P O 企業の創出



業績概要： 2019年12月期第1四半期決算



第1四半期 総括

■ 国内IT投資は変わらず堅調に推移

・・・国内デジタルトランスフォーメーション投資は堅調を維持

■ 売上高： 3,307百万円（前期比+5.6%）

営業利益： 147百万円（同 +142.5%）

・・・事業全般で好調。営業利益は前期の反動に加え、クラウド事業強化、原価率改善により大幅増

■ 業績は計画対比でも順調に推移

・・・2Q対比では想定をやや上回るペースで推移。通期予想比では期初より下期偏重の計画のため、想定通りに推移。

■ 自己株式の取得を発表

・・・3/14に自己株式の取得を発表（発行済み株式総数に対する取得割合：6.4%）

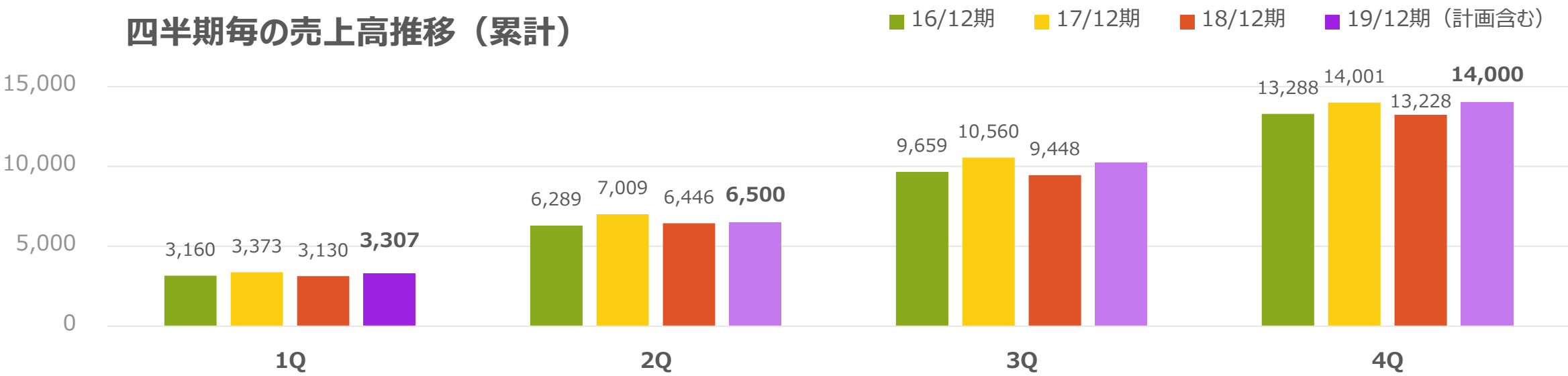
第1四半期決算 損益サマリー

- ・売上高は+5.6%、営業利益は+142.5%と好調に推移
- ・前期の反動もあるが、クラウド事業が好調かつ原価率も改善し、利益面が大幅増加

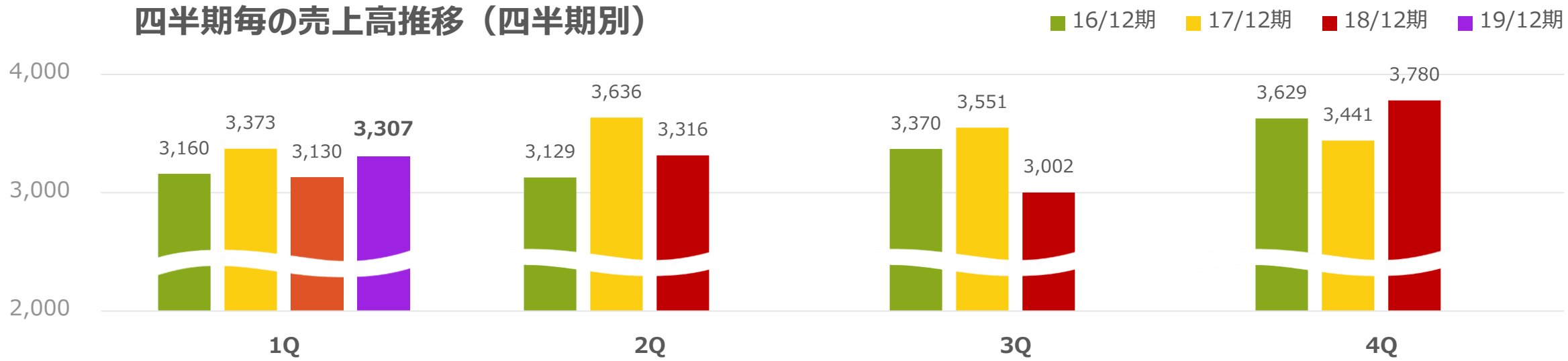
(単位：百万円)	2018/12期 1Q	売上高比	2019/12期 1Q	売上高比	前年同期比 増減率
売上高	3,130	-	3,307	-	+5.6%
売上総利益	562	18.0%	683	<u>20.7%</u>	+21.5%
販売管理費	501	16.0%	535	16.2%	+6.8%
営業利益	60	1.9%	147	4.5%	<u>142.5%</u>
経常利益	59	1.9%	148	4.5%	149.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7	0.2%	89	2.7%	-%

損益サマリー四半期別推移（売上高）

四半期毎の売上高推移（累計）



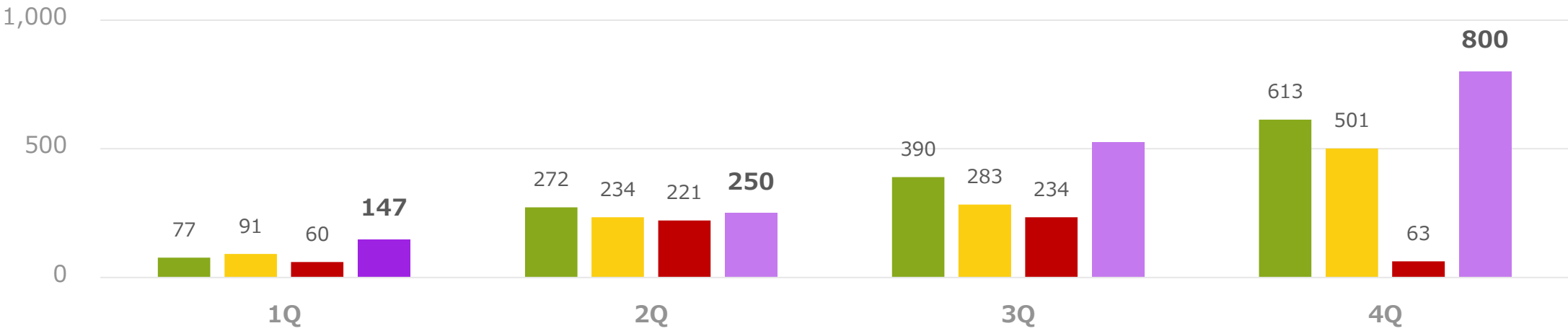
四半期毎の売上高推移（四半期別）



損益サマリー四半期別推移（営業利益）

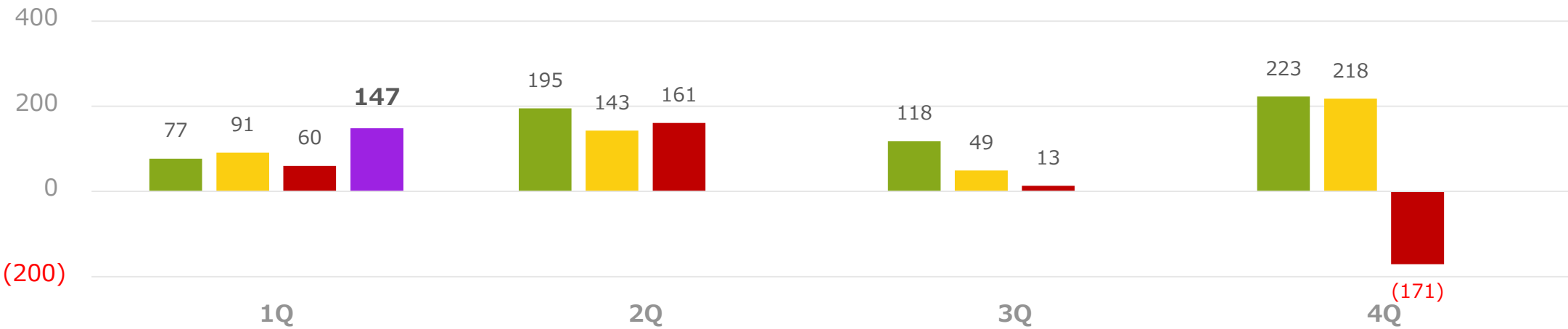
四半期毎の営業利益推移（累計）

■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期（計画含む）



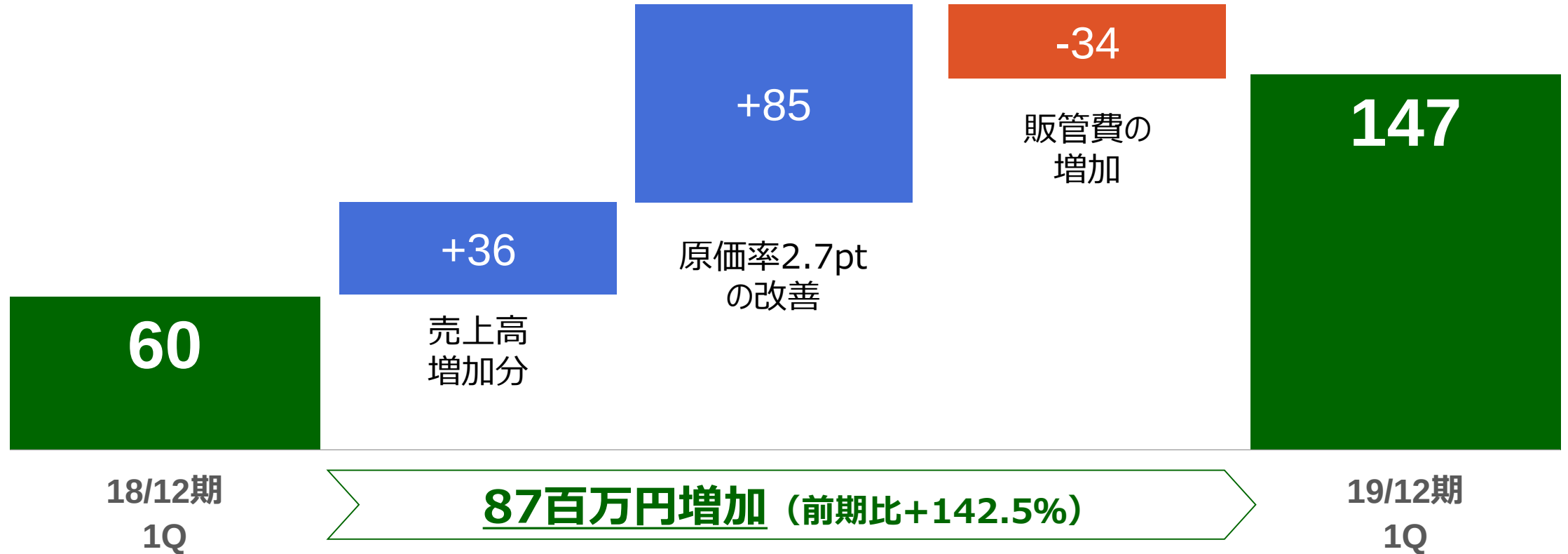
四半期毎の営業利益推移（四半期別）

■ 16/12期 ■ 17/12期 ■ 18/12期 ■ 19/12期



営業利益の変動要因

- ・営業利益は前期比+142.5%と大幅上昇
- ・メインのソフトウェア開発が好調による増収分に加え、粗利の高いクラウド事業の伸長により、原価率も改善



セグメント別損益の前期比

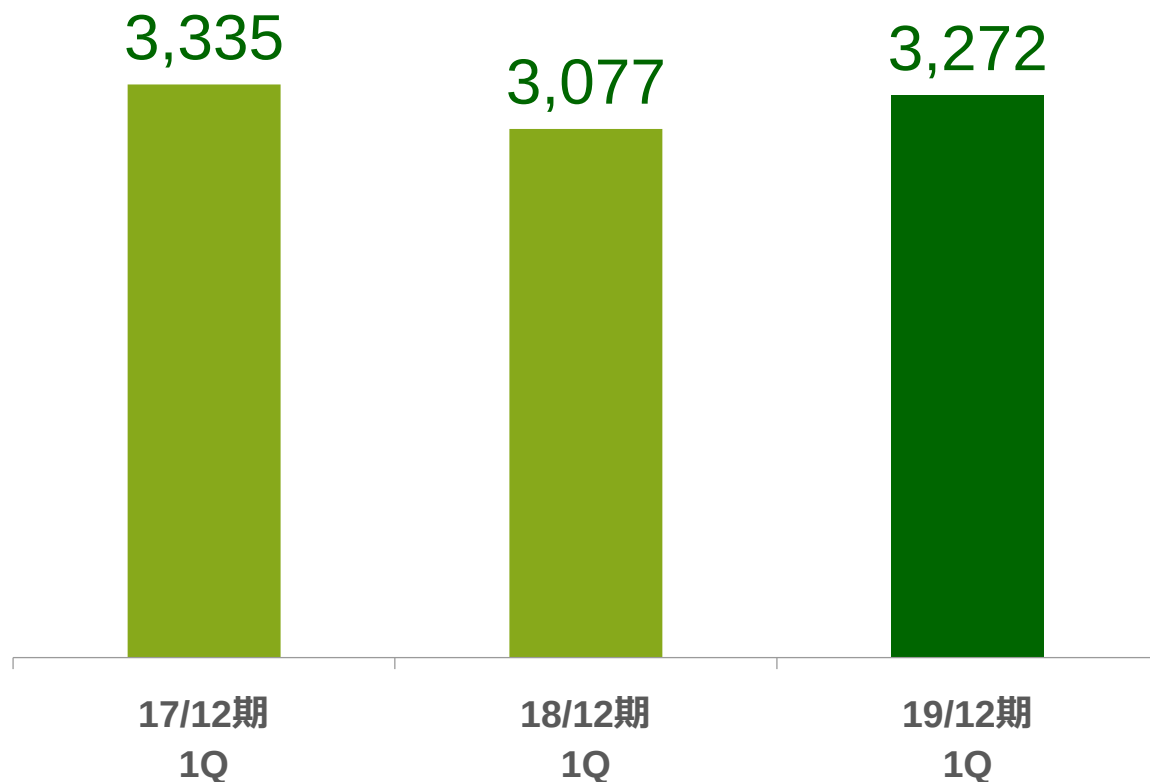
- ・クラウド事業が伸長し、ソフトウェア開発事業が堅調に推移
- ・中・小型案件が多く、前期の反動減などが影響し、デジタルサイネージ事業は減収

(単位：百万円)		2018/12期 1Q	売上高比	2019/12期 1Q	売上高比	前年同期比 増減率
売上高		3,130	-	3,307	-	5.6%
	ソフトウェア開発	3,077	98.3%	3,272	99.0%	6.3%
	デジタルサイネージ	52	1.7%	34	1.0%	-34.9%

セグメント別推移-ソフトウェア開発事業（S Iビジネス）

ソフトウェア開発 売上高推移

（百万円）



□ 売上高：3,307百万円

前期比：+5.6%

- ✓ 企業のIT投資は堅調に推移し、事業全般が好調に推移
- ✓ 営業強化により、利益率の高いクラウド事業が好調
- ✓ 同クラウド事業は5月に分社化、組織力を強化

※当セグメントの詳細

情報システムの分析、設計～開発、移行・保守サービスが主な対象

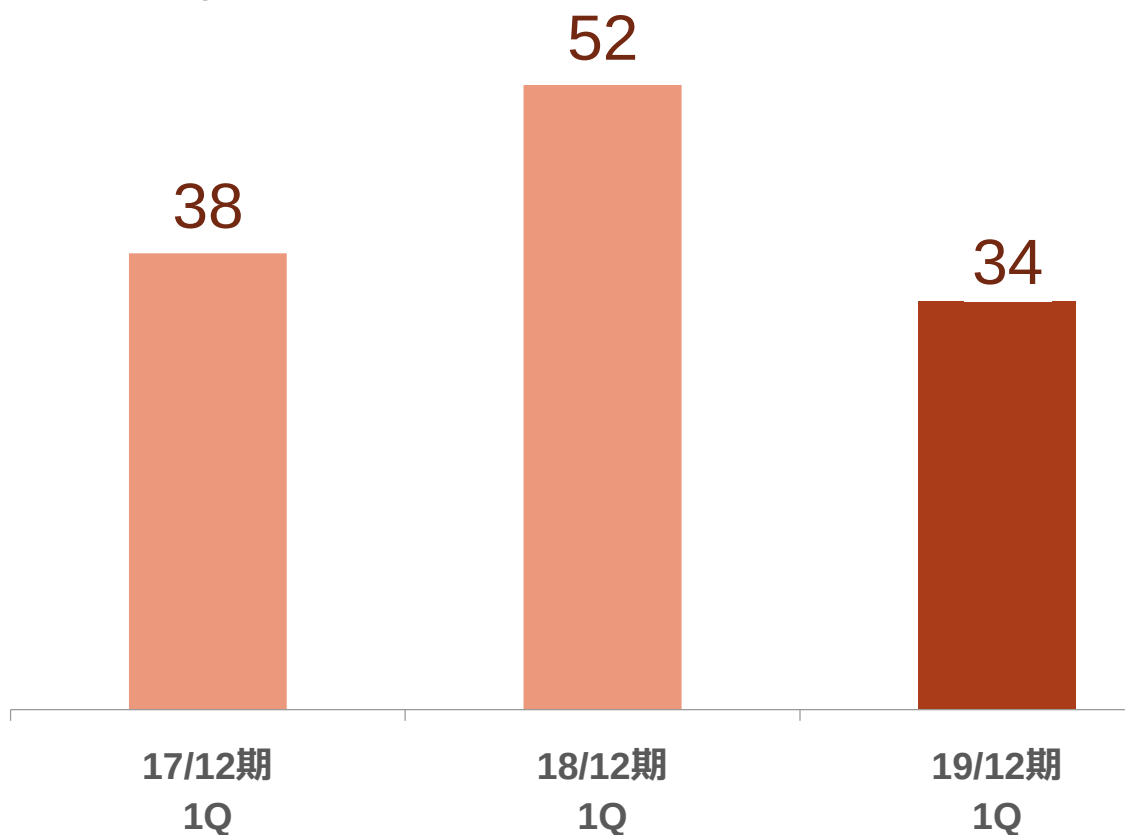
計上対象の売上げ：

エフ・エフ・ソル、イーアイ・ソル・インフィニットコンサルティング、エクスモーション、teco、コアネクスト、アスウェアの各売上げ

セグメント別推移-デジタルサイネージ事業

デジタルサイネージ事業 売上高 推移

(百万円)



□ 売上高：34百万円

前期比：-34.9%

- ✓ 中・小型案件が多く、前期の反動減などが影響し、減収

※当セグメント計上対象の売上げ：

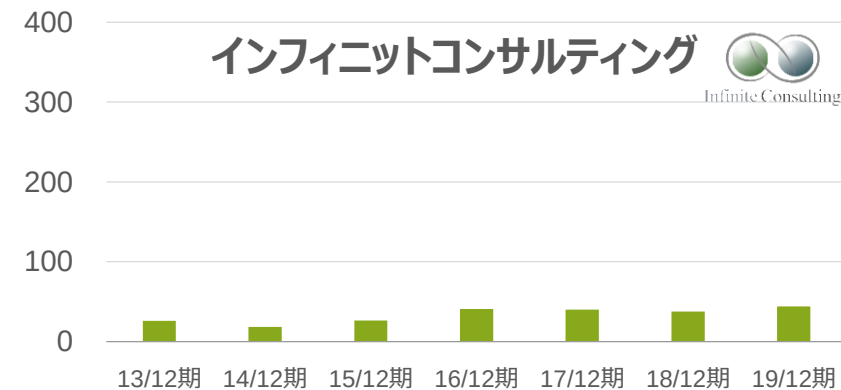
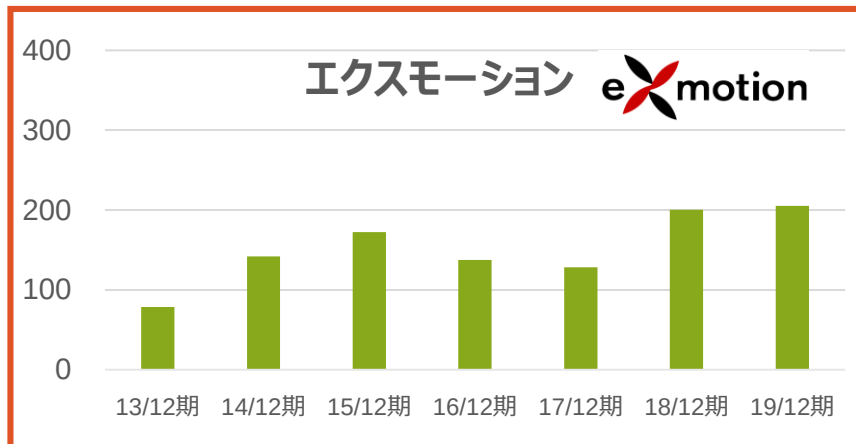
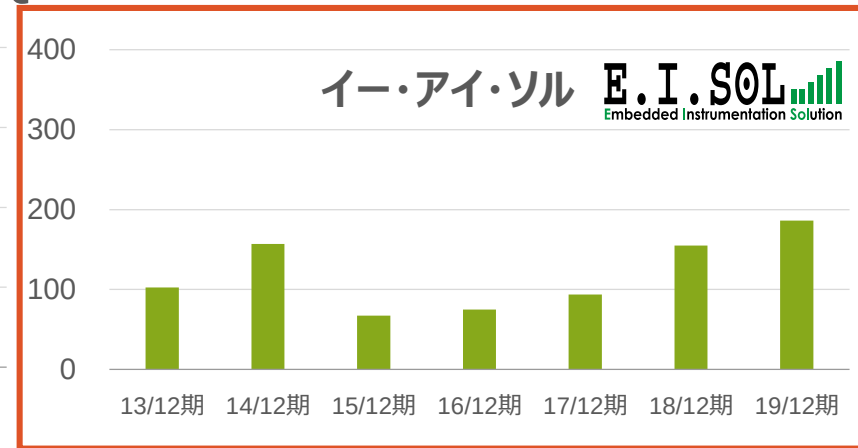
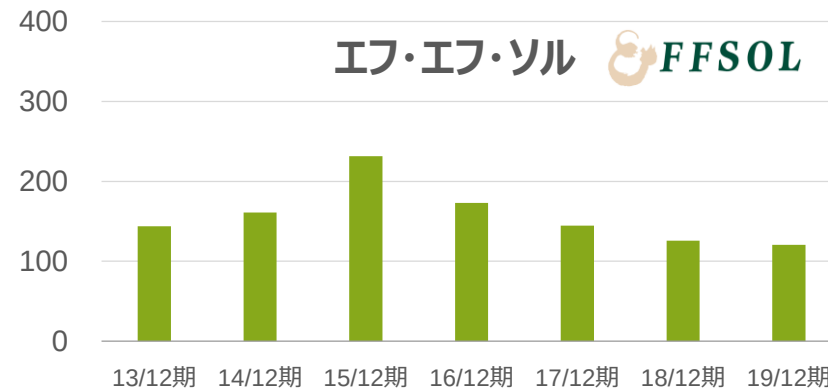
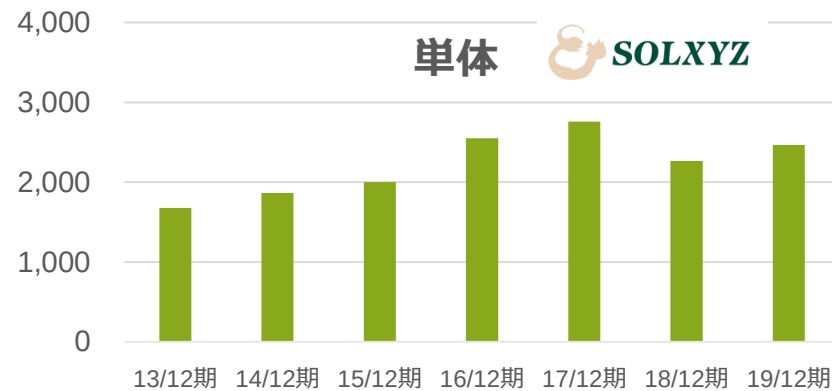
S/I受託開発、ソリューション業務以外の売上げ＝インターディメンションズの売上げが対象

グループ会社の業績概要イメージ-1（第1四半期売上高推移）

- ・デジタルトランスフォーメーション投資は総じて堅調で、グループ全体を通じ、売上高は堅調に推移
- ・特にIoTに強いイー・アイ・ソル、昨年上場した自動運転のエクスマーシオンなどが好調

各子会社の四半期売上高イメージ（1Q）

※単位（縦軸）は全て百万円



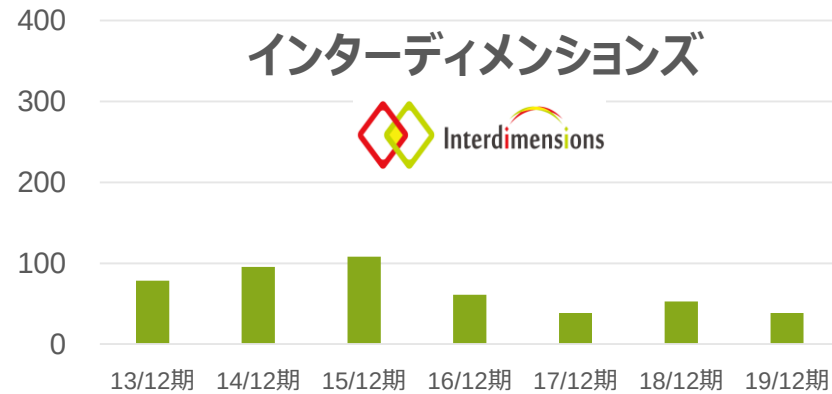
グループ会社の業績概要イメージ-2（第1四半期売上高推移）

- ・デジタルトランスフォーメーション投資は総じて堅調で、グループ全体を通じ、売上高は堅調に推移
- ・特にIoTに強いイー・アイ・ソル、昨年上場した自動運転のエクスマーシオンなどが好調

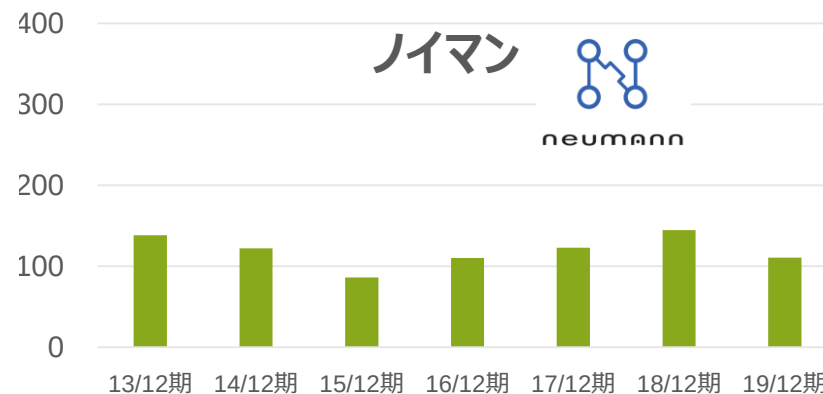
※単位（縦軸）は全て百万円

各子会社の四半期売上高イメージ（1Q）

インターディメンションズ



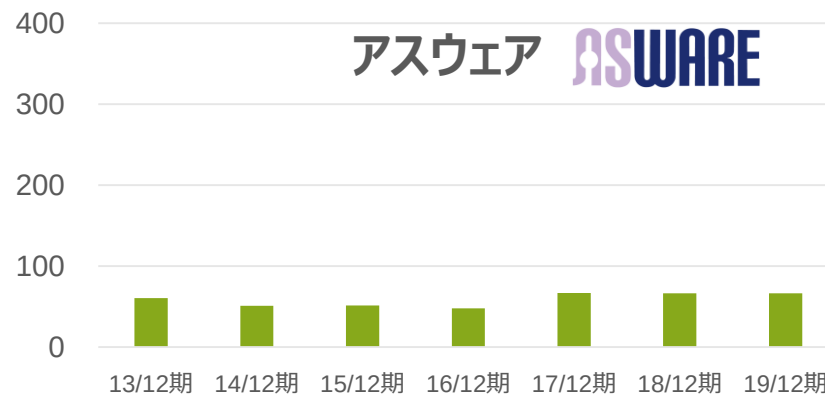
ノイマン



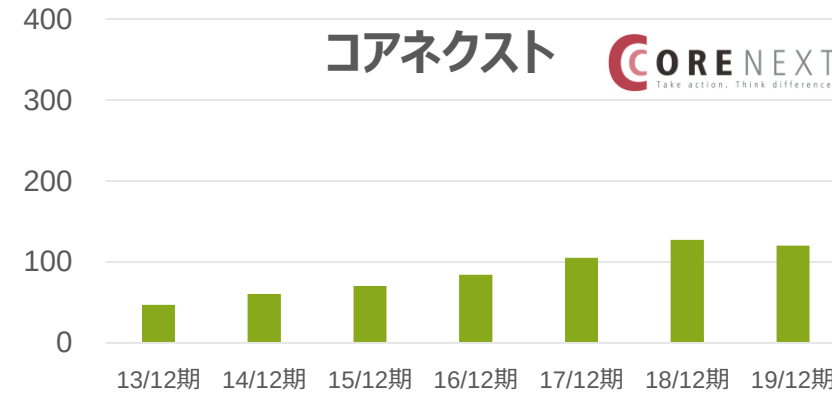
Teco



アスウェア ASWARE



コアネクスト



組込み分野拡大：自動車・メディカル（エクスマーション）

（株）エクスマーション（4394・東証マザーズ）

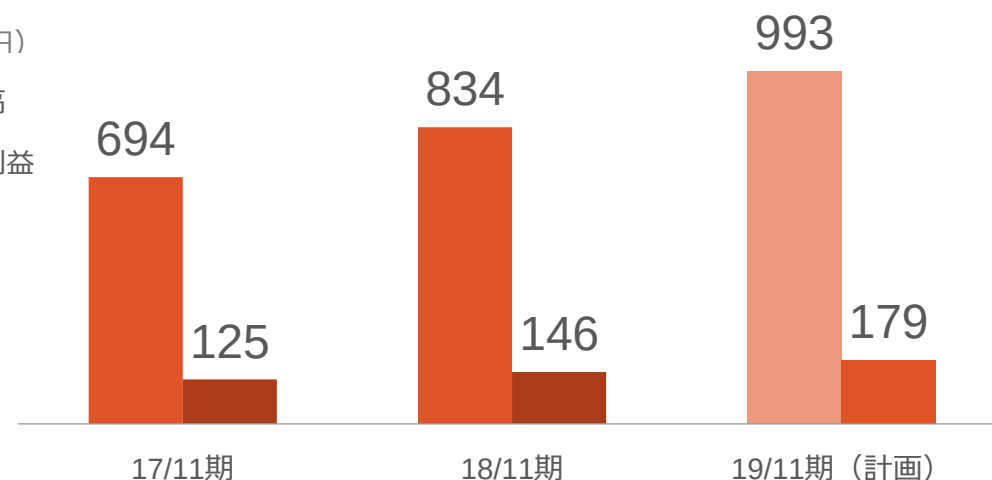


- ・ソフトウェアエンジニアリングのコンサルティングファーム
- ・強みの自動運転、医療機器分野の受注が好調で、上場効果により採用も順調
- ・自動運転・ADAS分野では最先端に位置し、国内大手企業との案件も多数



（百万円）

■ 売上高
■ 経常利益



組込み分野拡大：IoT（イー・アイ・ソル）

(株)イー・アイ・ソル

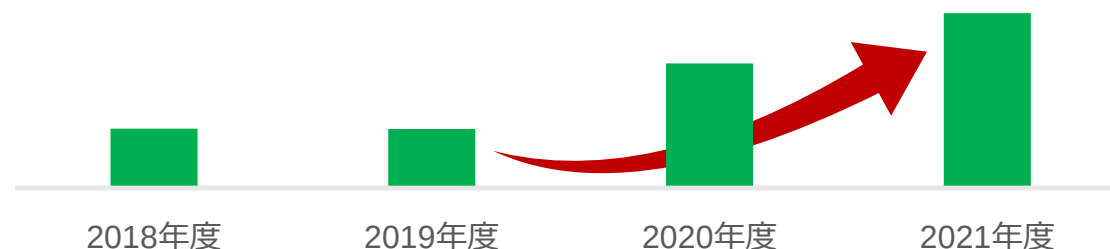
E.I.SOL 
Embedded Instrumentation Solution

「IoT/予知保全システム」



- ・ IoT・組込・制御・計測関連のソリューションに特化
- ・ IoTを駆使したシステムを開発、エネルギーマネジメントシステム「TUNNEL EYE」、工場の「予知保全システム」の2つは既に導入実績あり
- ・ 既に大手製造業とのIoT案件もあり好調、今後3か年で堅調な成長を予定

イー・アイ・ソル
3か年売上高推移イメージ



ストック分野の拡大：クラウドソリューション（(株)Fleekdrive）

クラウドソリューション：Fleekdrive, Fleekform



ファイルコラボレーションサービス「Fleekdrive」

- ・ファイル共有用のクラウド型オンラインストレージ

Fleekdrive

<https://www.fleekdrive.com/>



帳票出力サービス「Fleekform」

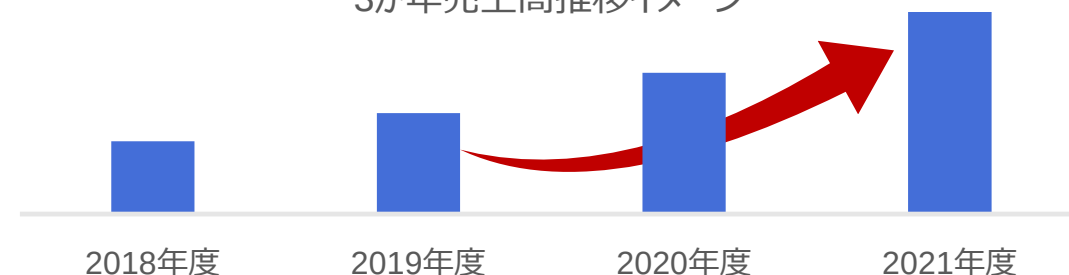
- ・Salesforceと連携したクラウド型帳票管理ツール

Fleekform

<https://www.fleekform.com/>

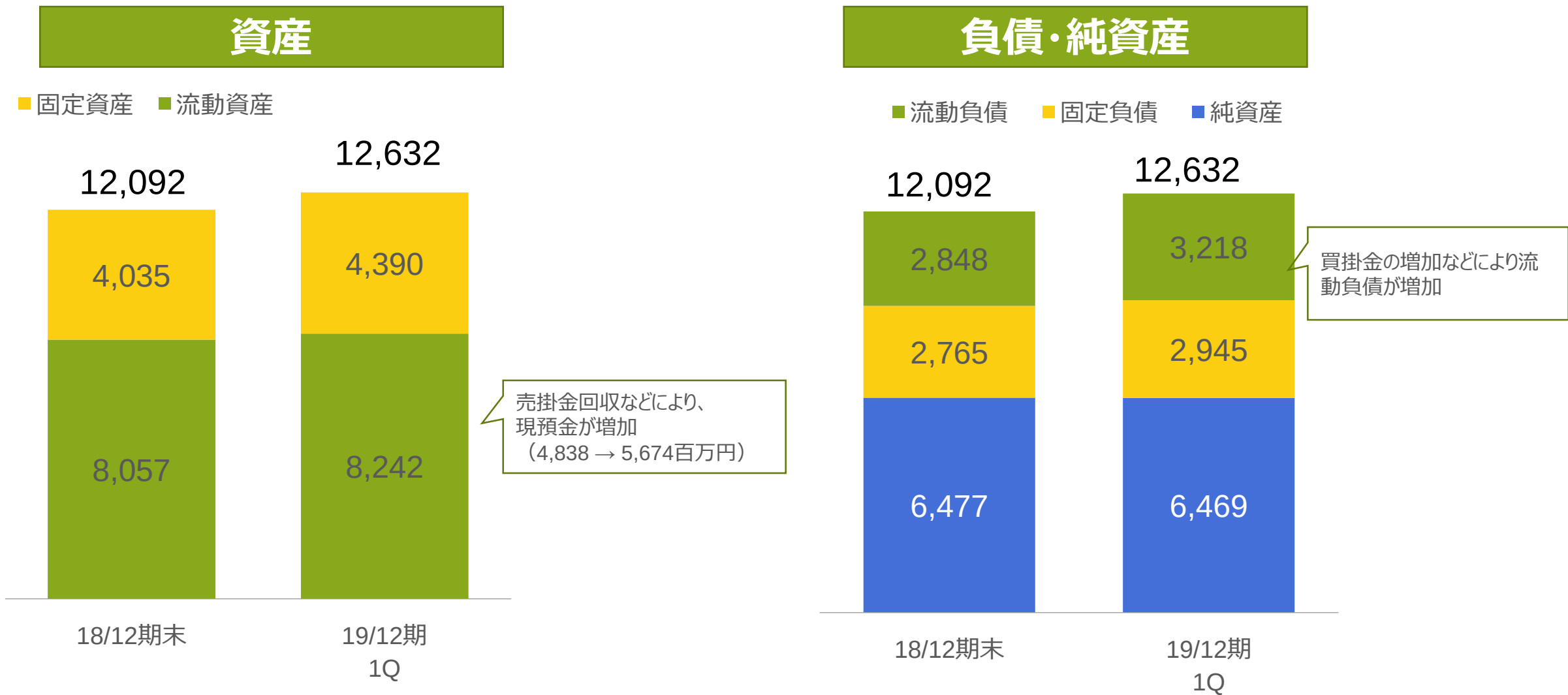
- ・クラウド仕様のコンテンツ管理サービス
- ・2012年より開始、大手含め契約社数は約300社超
- ・セールスフォース・ドットコムとも連携、顧客評価で最高位獲得
- ・18/6/1に豊田通商の海外会社と販売代理店契約を締結
- ・19/5に(株)Fleekdriveとして子会社化、利益率が高く、今後の収益性に大きく貢献予定

(株)Fleekdriveの
3か年売上高推移イメージ



貸借対照表

・自己資本比率は46.7%と健全な範囲で推移



株主還元方針

- ・配当内容は期初より変更なし
- ・業績や配当性向を考慮しながら、今後も安定した配当の実施を重視

年度	中間	期末	合計
2017年12月期	0.00円	8.00円	8.00円
2018年12月期	0.00円	15.00円	15.00円
2019年12月期（予）	0.00円	10.00～15.00円	10.00～15.00円

トピックス：自己株式の取得

3月14日、自己株式の取得を発表、
今後も効果的な株主還元を検討・継続

自己株式取得の概要

取得株式上限	80万株（発行済み株式総数に対する割合 6.4%）
取得価額 総額上限	5億円（東京証券取引所における市場買い付け）
取得期間	2019年4月1日～2019年12月31日
前期自己株式数	977,340株（発行済み株式総数：12,432,957株）

※直近の取得状況

取得済みの株式数	219,000株：上限の約27%（5/31現在 取得価額184,556,700円）
----------	---

通期業績予想 2019/12月期

- ・期初計画より変更なし。需要も旺盛のため、前期比で増収増益を予想
- ・前年度に収束したプロジェクトの影響により、上期がやや低く、下期にV字回復の見込みは変わらず

(単位：百万円)	2018/12期 実績	売上高比	2019/12期 予想	売上高比	前期比
売上高	13,228	-	14,000	-	+5.8%
売上総利益	2,194	16.6%	3,000	21.4%	+36.7%
販売管理費	2,131	16.1%	2,200	15.7%	+3.2%
営業利益	63	0.5%	800	5.7%	-
経常利益	78	0.6%	800	5.7%	+925.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	147	1.1%	450	3.2%	+206.1%

業績予想進捗

- ・ソフトウェア開発やクラウド事業が好調のため、2Q予想比では計画を上回る進捗で推移
- ・通期予想では期初より下期偏重の計画のため、想定どおりの進捗で推移

(単位：百万円)	2019/12期 1Q実績	2019/12期 2Q予想	2019/12期 通期予想	2Q進捗	通期進捗
売上高	3,307	6,500	14,000	50.9%	23.6%
売上総利益	683	1,300	3,000	52.5%	22.8%
営業利益	147	250	800	58.8%	18.4%
経常利益	148	250	800	59.2%	18.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89	130	450	68.5%	19.8%

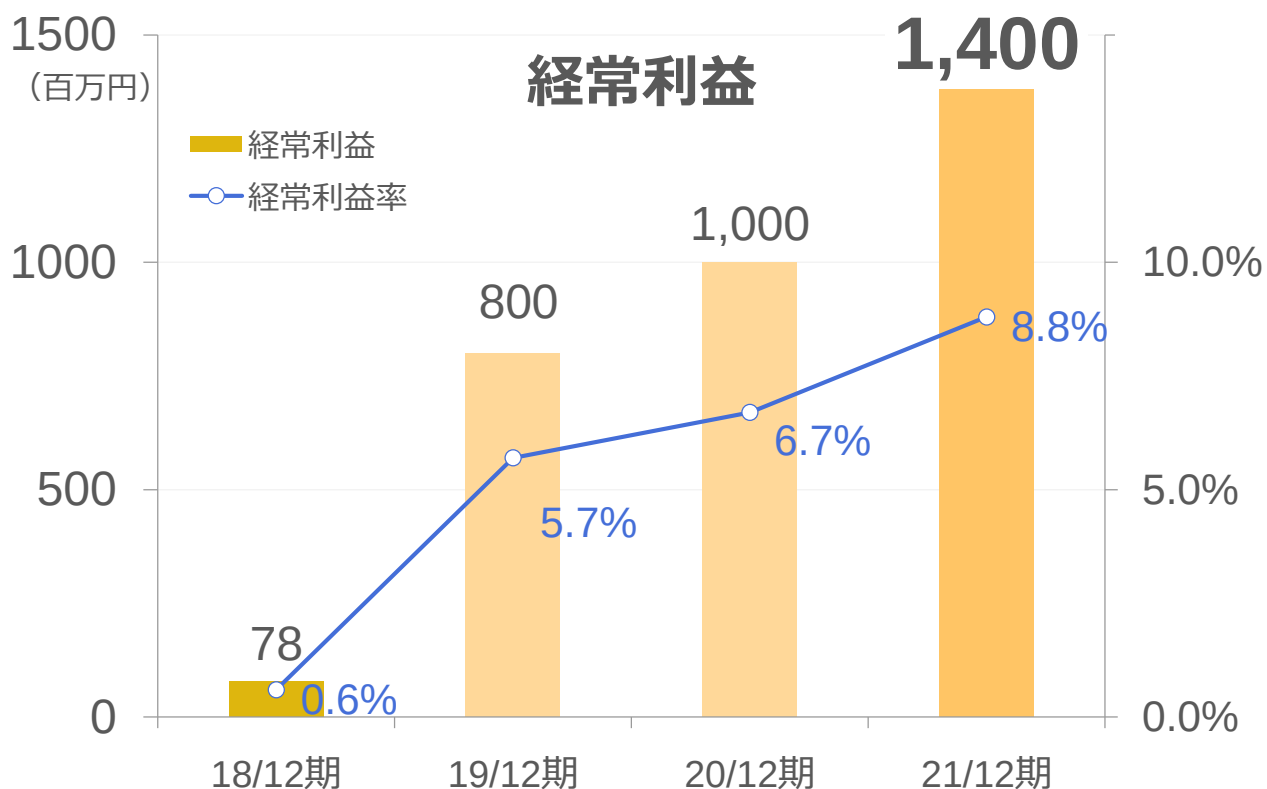
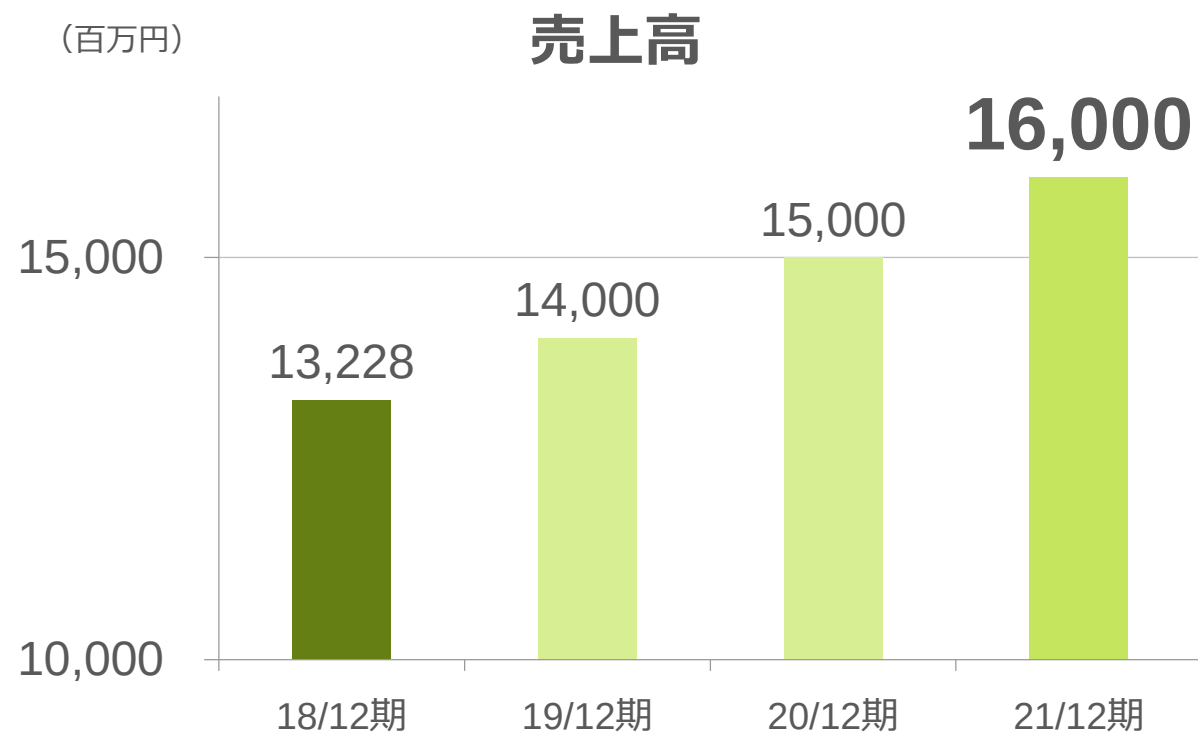
中期経営計画（19/12期~21/12期）

（2019/1/31公表）



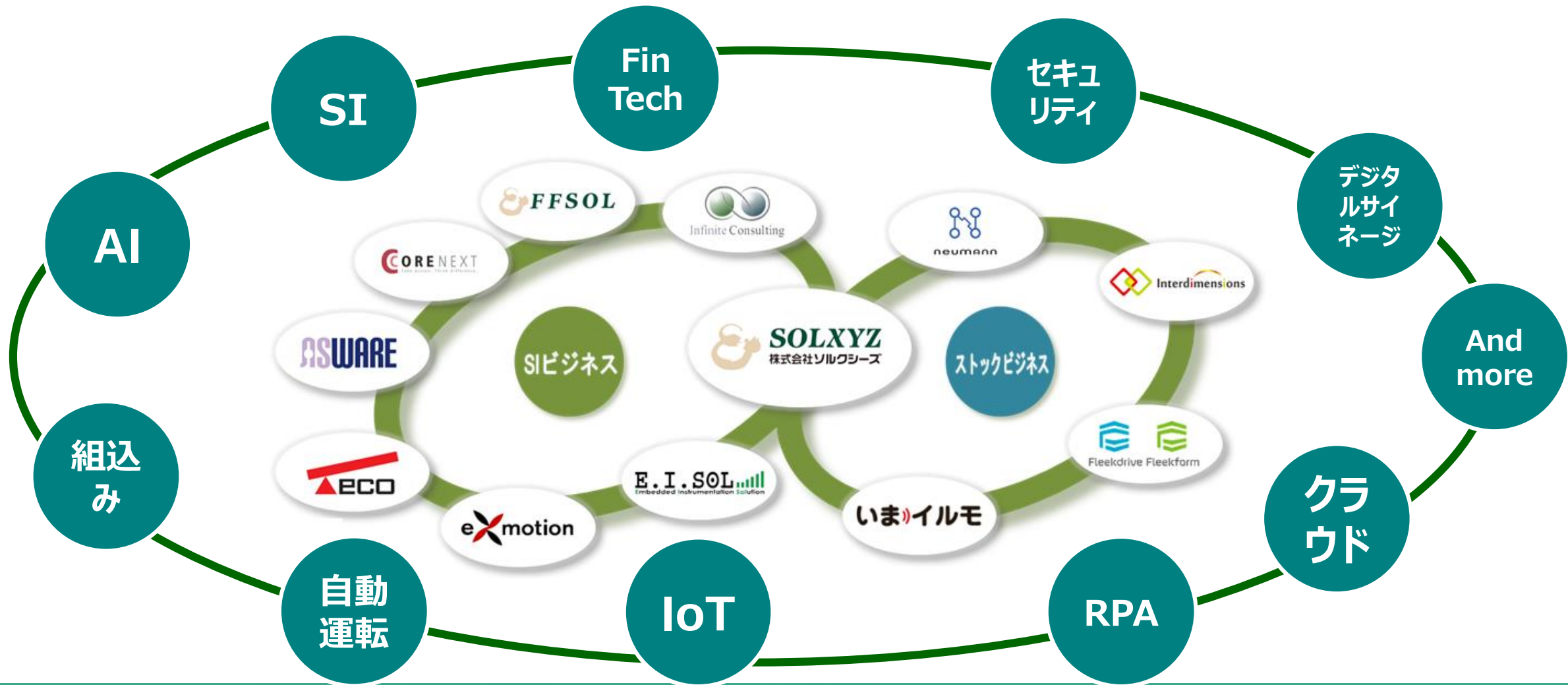
中期経営計画

- 毎年ローリングで策定・見直し
- 旺盛な需要から、最終年度には18/12期比で売上高+21%、経常利益14億円を想定
- 利益率の高いエクスマーション、クラウド事業が成長するため、利益率も向上の見込み



グループ全体で最新分野をカバー（専門店化戦略）

- 各分野で専門化された子会社を端緒に、最先端のニーズを確保

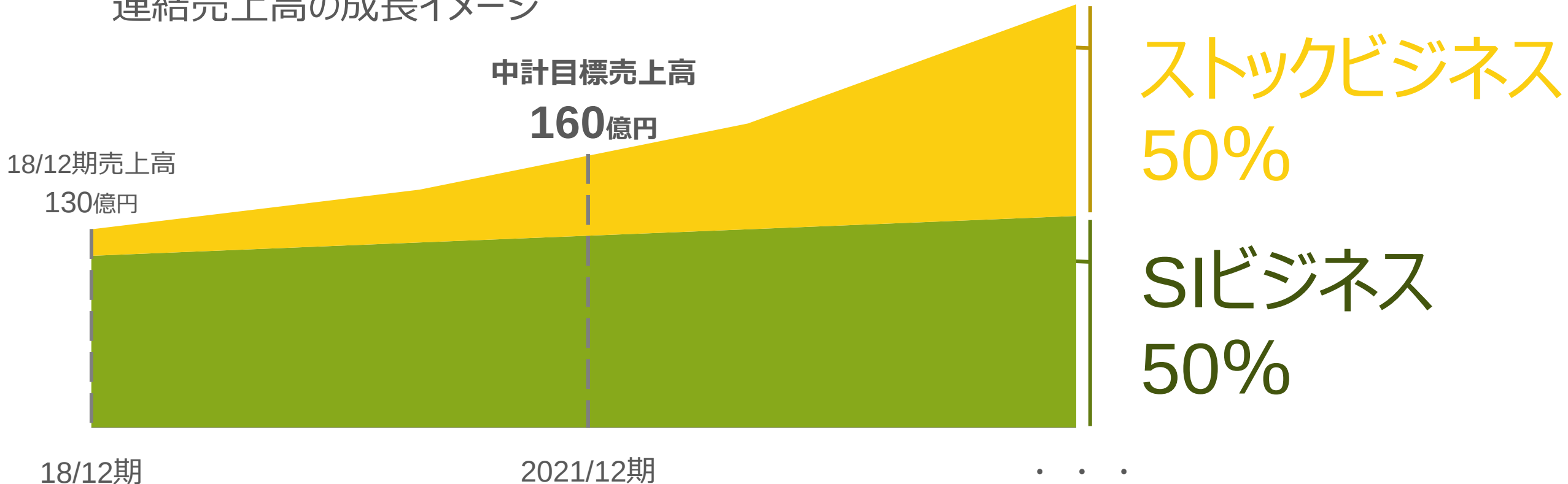


SIとストックビジネスの比率を50 : 50へ

- SIビジネスをベースとしながら、長期的にはストックビジネスを拡大、それぞれが50:50となるようビジネスを展開

連結売上高の成長イメージ

将来の事業構成比



注力分野：FINTECH・AI・RPA

FinTech



ジーフィット(株)と資本業務提携

- ・同社は金融システムツールを開発・運用するテクノロジスト集団。システムトレード用アプリケーション運用サービス「シストレクラウド」を運営するFinTech企業
- ・FinTechビジネスにおけるサービス提供、開発リソースの提供などを目的とし、資本提携済み

AI



(株)アックス主導によるAI分野への注力

- ・当社が14%を出資。AI関連ソフトウェアの開発が主。近年ではAI/自動運転で名古屋大学と産学共同研究中。トップクラスのオートウェアを有し、エヌビディアや国内自動車最大手企業も活用中。
- ・今後はSBIホールディングスとブロックチェーン分野へも応用予定。

RPA



UiPath社とのRPAプラットフォームプロジェクトの開発に着手

- ・米国UiPathは国内500社超、世界で1,800社超へのRPAサービスを導入するRPAのリーディングカンパニー。
- ・リセラー契約に加え、同日本法人と開発リソース・パートナープログラムを締結。コアの技術面からのサポートも可能に
- ・強みである金融分野を足掛かりに、2021年には市場規模100億と言われる*市場を見据え、RPAソリューションを展開予定*総務省の調べによる

APPENDIX





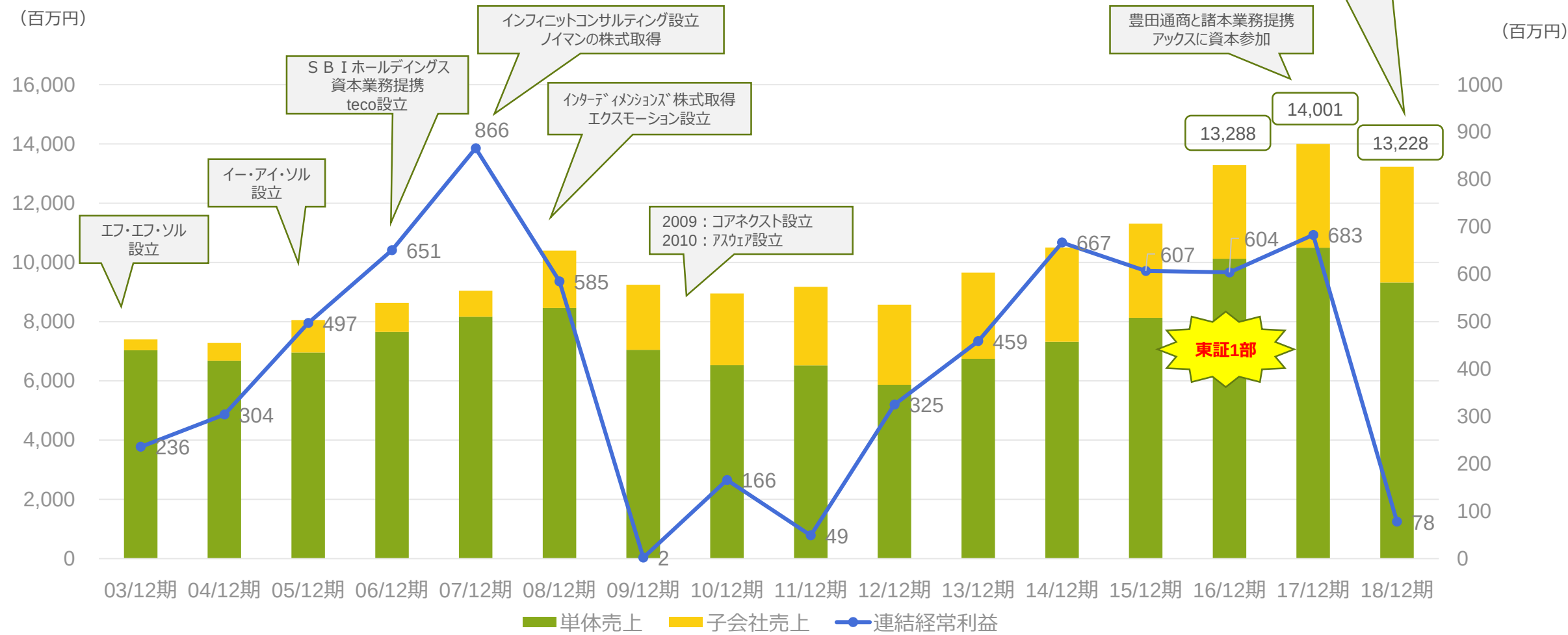
「情報技術の分野で究極の問題解決を提供し、お客様の夢を実現する
ソリューション・カンパニーを目指します。」

経営理念

1. 高い技術力を持ち社会に貢献する
2. お客様に最高の満足を提供する
3. 皆が夢を持ち続けられる企業を目指す
4. 新ビジネス・新技術へチャレンジする
5. グローバル企業を目指す

沿革と業績推移

連結売上高/経常利益



会社概要



株式会社ソルクシーズ

〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-21

- 金融・通信・基盤分野などのシステム開発に専門特化
- 生活や企業のシステムを支えるインフラを、ワンストップで構築・運用する企業集団

- 社長 : 長尾 章
- 設立 : 1981年2月 (2019年度は40期目)
- 資本金 : 14億9,450万円
- 売上高 : 132億2,863万円 (2018年12月期連結実績)
- 営業利益 : 6,346万円 (同上)
- 従業員 : 720名 (2018年12月末現在連結合計)

- 主要株主 :

SBIホールディングス(株)	2,150千株	16.0%
(株)ビット・エイ	1,320千株	9.8%
長尾 章	559千株	4.2%
(株)ヤクルト本社	530千株	4.0%
豊田通商(株)	134千株	1.0%
※自社株	977千株	7.3%
※発行済株式数	13,410千株	

(2018年12月末現在)

- 上場市場 : 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード: 4284)

- グループ会社

(株)エフ・エフ・ソル	(95.9%)
(株)イー・アイ・ソル	(100.0%)
(株)インフィニットコンサルティング	(100.0%)
(株)ノイマン	(100.0%)
(株)teco	(100.0%)
(株)インターディメンションズ	(100.0%)
(株)エクスマーシオン 東証マザーズ (4394)	(60.6%)
(株)コアネクスト	(100.0%)
(株)アスウェア	(100.0%)
アセアン・ドライビングスクール・ネットワーク(同)	(75.7%)
(株)Fleekdrive (2019年5月7日営業開始)	(100.0%)

- 親密出資先

エンカレッジ・テクノロジ(株)	東証マザーズ (3682)	(3.4%)
(株)エーアイ	東証マザーズ (4388)	(7.1%)

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われないようにお願いいたします。

【本資料へのお問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 秋山

E-mail: ir-post@solxyz.co.jp

Tel: 03-6722-5011 Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>